

令和6年度 学校評価

加古川市立志方東小学校

1 教育目標	「こころ豊かな たくましい子」―自ら考え、正しく判断し、やりぬく子を育てる―
--------	--

2 基本方針	
目指す児童像	「生きる力」を育む ○考える子「知」 ○やりぬく子「知」「徳」 ○助け合う子「徳」 ○たくましい子「体」「徳」
めざす学校像	○家庭、地域から信頼される学校 ○「地域の光」となれるような学校 ○誰もが自分の能力を十分に発揮できる学校
めざす教師像	○学び続ける教職員 ○人間性豊かな魅力ある教職員 ○自己変革力のある教職員
研究推進テーマ	○「思考力・判断力・表現力の育成 ～学びの深化を図る指導と評価の在り方～」

3 指導目標
1教育DXを推進 「個別最適な学び」と「協働的な学び」による学習指導の定着
2いじめを許さない学校づくり 望ましい・豊かな人間関係づくりの推進 人権教育・道徳教育の推進 心をこめて精一杯活動
3体力づくりの習慣化 食育・安全防災教育の充実
4地域とともにある学校 地域に貢献する児童の育成

評価基準
A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
1「知」学ぶ喜び	・基礎基本の定着 ・思考力、判断力、表現力の育成 ・家庭学習の定着 ・1人1台端末における個別最適化された学習指導の充実	A	・1人1台端末の活用状況は、市内屈指。 引き続き積極的な活用を継続する。 ・端末の有効活用を通して、協同的探究学習の推進を行う。 ・図書ボランティアの読み聞かせなど、児童が本に親しめる環境を強化していく。	・1人1台端末の活用では、家にも学校とつながることができ有効である。ICTの活用率が市内屈指であることも素晴らしい。子ども達の自信となってこれからの生活にも大きな宝物となっていく。 ・ICTの積極的な活用を今後も続けてほしい。 ・1年生から1人1人が熱心に勉学に励んでいる姿も素晴らしい。	A
2「徳」心の教育	・道徳教育、人権教育の推進 ・いじめを許さない学校づくり ・異学年交流 ・体験活動の充実	B	・主体的で豊かな人間関係づくりのため、異学年交流、ユニット間での交流の充実を図る。 ・自分事と捉え、みんなで力を合やす素晴らしさを体験できるように教育活動を充実させる。 ・いじめ防止をアンケートや教育相談など早期発見・未然防止に取り組む。 ・親子読書や道徳だよりの発行等で家庭でも人権や道徳の話題になるように啓発する。 ・スクールカウンセラーによるこころの教育を教職員の研修と合わせて、児童にも浸透する。	・小学校の頃から自分を知り、他者を敬うことは大切である。 ・他校や異学年交流など教育活動が充実されている。 ・上級生が下級生の面倒をみるのが自然とできており、下級生は上級生をあこがれや尊敬の目で見ており、目標としているのを感じ、成長がみられる。	B
3「体」命の教育	・強い心の育成、目標をもって努力する大切さ ・安全防災教育の充実 ・保健指導・食育の充実	A	・警察、消防署等専門機関と連携して避難訓練や交通安全教室を実施し、安全防災教育を充実させる。 ・「元気パワーアップ週間」などの意識づけや給食試食会による食育の充実を図る。	・学校の隣に駐在所があり、いつも安全の見守りがされて学校生活を送れている。 ・豊かな自然と運動場での外遊びをよく見かけることがあり、体力づくりに励んでいるのがわかる。 ・防災教育は今後必要なことなので続けてほしい。	A
4地域の光となれる学校	・保護者や地域への積極的な情報発信 ・地域との協働	A	・地域の方に温かく見守られて応援されていることに感謝し、挨拶など児童が中心となって行動できるようにする。 ・地域や学校の「伝統」にふれ、伝え合う学びを通じて地域の一員として貢献し、ふるさと意識を醸成するような人々の「つながり」や「かわり」を大切にできるような活動の充実を図る。 ・保護者や地域への積極的な情報発信や地域との協働体制を継続して充実させていく。	・子どもたちが「地域の光」であることの自覚をもっていることがうれしい。 ・住民にとって小学校は心のより所。これからも子ども・学校・保護者・地域が一体となり連携して取り組んでほしい。地域として応援していきたい。 ・少人数となり、様々な課題はあるが、これからも近隣の小学校との交流など工夫しながら、集団の場の確保に努めてほしい。	A